

本時の目標：ヨーロッパの再編、イギリス・フランスの動きを掴もう。

### ヴィクトリア期のイギリス

(1) 「世界の工場」・・・繁栄の絶頂にある 19 世紀半ばのイギリス

⇒<sub>1</sub> \_\_\_\_\_ 女王治世下のロンドン<sub>2</sub> \_\_\_\_\_ (1851 年) は延べ 600 万人以上が入場

(2) 二大政党制・・・自由党・保守党が総選挙の結果に基づいて、政権交代する典型的な議会政党政治

⇒保守党の<sub>3</sub> \_\_\_\_\_、自由党の<sub>4</sub> \_\_\_\_\_ らによる改革  
(19 世紀半ばにトーリー党は保守党、ホイッグ党は自由党と呼ばれる。)

第 2 回選挙法改正 (1867 年)・・・<sub>5</sub> \_\_\_\_\_ の相当数に選挙権

第 3 回選挙法改正 (1884 年)・・・<sub>6</sub> \_\_\_\_\_ などに選挙権

<sub>7</sub> \_\_\_\_\_ 法 (1870 年)・・・初等教育の好適整備始まる

<sub>8</sub> \_\_\_\_\_ 法 (1871 年)・・・組合の法的地位を承認

(3) <sub>9</sub> \_\_\_\_\_ ・・・イギリスに正式に併合されて (1801 年) 「連合王国」に組み込まれる。

⇒ケルト系住民の多くがカトリック教徒で、イギリス人の不在地主のもとで、小作人という地位

① 大飢饉 (ジャガイモ飢饉、1840 年代半ば) ⇒100 万人以上が<sub>10</sub> \_\_\_\_\_ に移民

② <sub>11</sub> \_\_\_\_\_ 法案・・・1880 年代以降**グラッドストーン**が提出するが、議会議会を通過せず。

(4) 1873 年の不況⇒海外の植民地帝国を重視

<sub>12</sub> \_\_\_\_\_ ⇒**アイルランド自治法案**に反対して 1886 年に自由党を分裂させ 95 年に植民相として、保守党内閣に加わる。

### フランス第二帝政と第三共和政

(1) 第二<sub>13</sub> \_\_\_\_\_ ・・・農民・資本家・労働者など利害を異にする勢力に支えられる

① 内政・・・<sub>14</sub> \_\_\_\_\_ が英仏通商条約を結び、自由貿易原則のもとで、国内産業を育成

② 外政・・・人気維持のため、**クリミア戦争・アロー戦争・イタリア統一戦争**

**インドシナ出兵**を展開

フランス人<sub>15</sub> \_\_\_\_\_ の提案による**スエズ運河**建設支援

- ③ 没落・・・メキシコ遠征失敗、<sup>16</sup>\_\_\_\_\_ (普仏) 戦争  
 (ドイツ=フランス戦争) に敗北⇒パリで蜂起、帝政崩壊、臨時国防政府樹立  
 (1870年9月)

- (2) <sup>17</sup>\_\_\_\_\_・・・社会主義者やパリの民衆が革命的自治政府を樹立  
 ⇒労働者など民衆が中心となる世界史上初の自治政府であったが、<sup>18</sup>\_\_\_\_\_  
 のもと、臨時政府は軍事力でコミュン政府を打倒

- (3) 第三<sup>19</sup>\_\_\_\_\_・・・ドイツへの賠償金を予定より早く完済、王党派と共和派の対立  
 共和国憲法制定 (1875年)・・・第三<sup>19</sup>\_\_\_\_\_の基礎が据えられる。  
 7月14日を国民祝祭日とする (1880年) など<sup>20</sup>\_\_\_\_\_を原点とする  
 国民統合が進展

目標の達成度を5段階で評価しよう。

1——2——3——4——5

○本時の感想と疑問点を記述してください。